

救援・復興県民会議だより

〈発行〉東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議 No.17 (13・8・22)

〒020-0015

盛岡市本町通2-1-36

浅沼ビル6F

電話・FAX(兼)

019-601-5133

メールアドレス

fukkou_ikg@hyper.ocn.ne.jp

「被災者本位の復興応援サマーバスツアー」(8/10~11)

一釜石【復興の鐘一釜石(鵜住居地区防災センター)】、南リアス線(大船渡・吉浜駅~盛岡)
陸前高田(奇跡の一本松、慰霊碑)、最後に関・狛鼻溪(日本百景の一つ)をまわる一

「被災地を見て」、「食べて、買って」支援を

東日本大震災津波から2年5ヵ月目の月命日(8月11日)と催行日が重なった「復興応援サマーバスツアー」。埼玉県、神奈川県、長野県、そして盛岡市内在住の13名が参加しました。

前日の8月9日、雫石町、紫波町、矢巾町、盛岡市内では「かつて経験をしたことがない」という豪雨被害(花巻市内では、裏山の土砂崩れで1名死亡)の影響が心配される中、予定通り盛岡駅東口のバスロータリーを出発。途中、遠野・道の駅「風の丘」で休憩をとり、午後1時すぎに釜石駅前に到着。駅近くの公園内にできた「釜石はまゆり飲食店」(仮設店舗街)で昼食(釜石名物の釜石ラーメンなど注文)。外は30度を超えるような暑さでしたが、冷房がある「プラザ釜石」と「サンフレッシュ釜石」(旧橋場市場の商店が移転)で買い物。



(酒の肴に最高)

JR山田線(釜石~宮古) 鉄道復旧と南リアス線開通を待つ釜石駅



釜石駅内に設置された「復興の鐘」をつく家族

午後2時過ぎに、ボランティアガイドが同行。まずは、寄贈された「希望の鐘」の紹介を受け、ツアー参加者が復興を願って鐘をつきました。近くには井上ひさしが作詞した校歌の碑も



慰霊祭が行われている鵜住居防災センターに駐車したバスへ向かう参加者

ガイドさんの案内で釜石市鵜住居に行きました。100名

を超える避難者が犠牲となった「鵜住居防災センター」(10月中に解体工事が行われることに)では、月命日を前にして、慰霊祭が行われていました。従って、センター内に入らず、そこから海側に300m以上を歩き(工事用のダンプなどが走っている近く)、学校にいた生徒全員が避難して助かった中学校・小学校(両方ともすでに解体)があった方向を見ながら、3・11の時、急な坂道を高台(指定された避難場所も通りすぎて)にむかって避難をした状況をお聞きしました。(途中にあった保育園では、保育士さんたちが昼寝している幼児を抱えながら避難をしたことも)

釜石市役所近くの高台の避難場で話をするガイドさん



バスで鵜住居から釜石市内の中心部に移動。釜石市役所近くの高台の避難場所、3・11当時の釜石の状況や、津波襲来ごの鵜住居の状況を用意した写真(鵜住居の中学校の3階に車が入っているなど)を見せながら説明をしてくれました。眼下には、釜石港が見え、国の直轄事業として湾港防波堤建設工事や、今後の都市計画工事が予定される更地が見えました。一日も早い、被災者本位の復興が望まれます。バスは、今晚の宿泊場所、大船渡・崎浜にある民宿「あづま荘」へと。

(復興応援
サマーバス
ツアー2日
目)

少し曇り
がち天気。
民宿「あづ



ま荘」の主人 活気が戻り始めた大船渡・崎浜港
と女将さんらにお見送りして頂く中を出発。

昨日の夕食は、ちょうどウニ漁の今年の最終日
だったのですが(後で聞いた話)、新鮮な生ウニ
がサービスで追加され、お酒もすすみました。夕
食を囲んでのツアー参加者交流では、このツアー
参加のきっかけを聞いて、本当に様々なかたちで
参加していることを知りました。

ビデオ上映「3・11」当時の大津波による 被害状況を知る

夕食後、ご主人の取り計らいで、3・11の崎
浜地区の状況を写したビデオを見ました。防潮堤
の水門が津波で壊され(一部は乗り越え)、一気に
居住地まで津波(ビデオにゴォーという風?
の音も)が押し寄せ、次々に押しつぶされていく状
況や、引き波では港の底が見え、壊された家屋の
残骸が沖まで流されていました。

三陸鉄道・南リアス線(大船渡・吉浜駅~盛駅
約21キロ)に乗車。車内販売もにぎやかに



今年4月3日から、三鉄の南リアス線が一部開
通(吉浜~盛)しました。私たちが乗車した車両
は、クウェートからの支援金で購入した3両のう
ちの1両編成。吉浜駅は無人駅ですが、ドリフタ
ーズの志村けんさんが一日駅長した時の制服が飾
られたコーナーも。通過する駅から見える光景
は、3・11の被災
状況をうかがうこと
もできます。

綾里駅からは、車内
販売の元気な女性二
人が乗車。



人気スポット「恋し浜」駅

ガイドも名調子。NHKの朝の連続ドラマ「あ

まちゃん」は、北リアス線。そして、じゅ・じゅ・
じゅが有名ですが、ここ、けせん地域では、バア
・バア・バア!!!です。ついつい、買ってしまっ
た「ホタテコロッケ」、味噌風味の鍋パン(名前を
忘れた)もおいしかったです。

来年4月には、北リアス線は久慈駅から宮古駅、
南リアス線は釜石駅から盛駅まで開通の予定。と
ころが、宮古駅から釜石駅まではJR東日本の山
田線ですが、鉄道の復旧について明言していません。

モニュメント「奇跡の一本松」見学

—背景の建物は、旧高田松原のユースホステル—



大船渡市内から陸
前高田市内を走行。

仮復旧の国道45
号線から市内が一望
できましたが、これ
からの復興に向けた
工事車両も多くさら
には、ガレキ処理と
かさ上げ用の土砂が
高く盛られています。

この日は、月命
日(8月11日)で
日曜日にも重なって、

多くの見物客がいます。45号線の脇にある仮駐
車場でバスを駐車。交通安全と建設中の陸前高田
市浄化槽センターの建物で、遠回りをしながら
「奇跡の一本松」まで歩いていかなければなりませ
ん。歩行者用に簡易舗装がされています。

「奇跡の一本松」は、塩害で枯れたため、モニ
ュメントという形で、7月に完成。全国からの募
金で復活することができました。見学後、45号
線脇の旧道の駅の敷地内に設置された慰霊碑に寄
り、犠牲者のご冥福をお祈りしました。

バスは陸前高田市から、観光をかねて一関・東
山の「猊鼻溪」(日本百景の一つ)で、川船による
遊覧を体験。美し景観とともに船頭さんの巧みな
話術ありで楽しい一時に(この日は、この間の豪
雨で土砂が堆積したところをユンボで土砂移動
中)。その後、宮沢賢治が勤めた東北砕石所も見学

最後に、(株)コープトラベルいわてから添乗員
役としてお世話になった大橋さんに感謝。